



初山別 豊岬金比羅神社 (第 1G)

Rotary International District 2510

**GOVERNOR'S**

**Monthly Letter**

2022-2023 ガバナー月信

1

2023 Jan

No.7

  
**END  
POLIO  
NOW**



**国際ロータリー第 2510 地区**

**2022-2023 年度 ガバナー 石丸 修太郎**

〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西 11 丁目 4 大通藤井ビル 7F

TEL (011) 207-2510 FAX (011) 207-2512

E-mail: rid2510@pxva.ne.jp <http://rid2510.org>

## 2022-2023年度 国際ロータリーのテーマ

# 「イマジン ロータリー」



## 国際ロータリー第2510地区 2022-2023年度テーマ

# 「ロータリーに想いを馳せる」 ～明日のロータリーに夢を込めて～



### 【地区目標】

- ① クラブの将来像を打ち立てる
- ② より多くの会員の参加を得てクラブにおいて新たな事業に取り組む
- ③ 青少年への支援を発展・充実させる
- ④ ICTも利用して交流の輪を広げる

## CONTENTS

●ガバナーメッセージ -----	1	●第50回ローターアクト地区協議会を終えて-----	12
●青森県津軽地方豪雨災害支援金の御礼とご報告-----	3	●ガバナー公式訪問-----	13
●RLIパートⅡを終えて-----	4	●国際大会案内-----	14
●ロータリー財団地域セミナーに参加して-----	6	●ガバナー四方山話⑦-----	16
●2022-2023年度 第2回ガバナー会議報告-----	7	●ガバナー補佐自分を語る-----	17
●ロータリー研究会報告-----	8	●新会員のご紹介-----	20
●第4・第5グループ合同会長・幹事会開催報告-----	10	●月信委員会からのお知らせ/例会場変更のお知らせ---	21
●札幌RC 90周年記念例会・祝賀家族会開催-----	11	●表紙の解説（第1グループ）-----	22



## ガバナーメッセージ

国際ロータリー第2510地区

2022-2023年度ガバナー 石丸 修太郎  
(札幌西RC)

2023年の幕開けです。新年明けましておめでとうございます。という筆をとっているのは師走の最中です。11月の最大のイベントは、神戸で開催されたロータリー研究会です。2020年は中止、2021年はRI会長がZoomで参加ということで、3年ぶりにRI会長とロータリー財団の会長が揃って参加されました。松浦ガバナーエレクトからの報告があると思いますが。同期のガバナーの皆さんとの時間は実に楽しいものでした。

12月に入り、財団奨学生の面接も行いました。財団に応募して来られる方で特にグローバル補助金の奨学金への応募はとてレベルが高く、学業と実務の両方をこなし更なる勉強への意欲を持つという素晴らしい方々ばかりで、とても刺激を受けました。海外経験が無くとも非常に高い成績を語学で取られる努力には頭が下がりました。

また米山奨学生の選考にも参加して、面接を行いました。しかし採用できる人数に限りがあり、選考するという事は奨学金を出せない応募者を作ると考えると、とても厳しいものがあります。成績が優秀というだけでは米山奨学生の資格はなく、日本と母国の親善大使として果たす役割を認識してロータリーへの理解を求めますので、一筋縄ではいきません。

日本語のあまりできない学生も居て、選考を終えると結構疲労感が残りました。しかし、ゆっくりとしているわけにもいかず、面接が終わると、全員で選考会を行い、面接の採点と地域性、学校の広がり等々を勘案して予定していた13名の奨学生と2名の補欠を決めました。



この間、地区の諮問委員会と松浦ガバナーエレクトの壮行会を開催しました。諮問委員会では懸案でありました、地区危機管理基金の設置について同意を頂き、今後会長・幹事会での提案をさせて頂くこととなりました。また地区の状況報告等をさせて頂き、伊藤元RI理事（PG）より温かな励ましの言葉を賜り感激の極みでありました。

ガバナーエレクトの壮行会はようやくコロナ禍への対応も進み、松浦GEには初めてのオーランド体験をしていただくということで大いに盛り上がりました。

12月の最後のイベントは大阪第2660地区の地区大会で、大坂ロータリークラブの創立100周年のお祝いも兼ねてということで、34地区のうち24地区のガバナーが集まるというビッグイベントでした。

12月16日は開会式に続いて、千玄室元RI理事の講演を聞くことが出来ました。99歳で75分間立ったままでの講演には内容もさることながらその姿勢には頭が下がりました。

晩餐会ではガバナー自らがダンシングチームに入り軽快なダンスを披露して大喝采を受けて居りました。



翌日は友愛の広場を設けて、インターアクト、ローターアクト、ローテックス、米山、交換留学生など若い人たちが集う場所設けて大変な賑わいでした。当地区でも今後地区大会でこのような形の若い人たちが集える場を設けることが出来たら素敵だと感じました。記念講演会は慶應義塾大学の宮田教授のお話でしたが、その後若い人たちとのパネルディスカッションを行い若い人へのアドバイスでしたが、新鮮な感じで素敵な企画だと思いました。

全てが終わり、残った同期ガバナーで第2660地区宮里ガバナーを囲んでの打ち上げ会は大阪ならではの心遣いで本当に心温まるものでした。感謝



2022年12月吉日

国際ロータリー 2022～23年度  
同期ガバナーの皆様

国際ロータリー第2830地区  
ガバナー 田中常浩

## 青森県津軽地方豪雨災害支援金のお礼と報告

謹啓 初冬の候、貴地区におかれましては益々ご清祥の事とお慶び申し上げます。

この度は、8月の青森県津軽地方豪雨災害に際しまして、ガバナー会を通じて、全地区へ災害支援金の要請を発出させて頂きましたところ、迅速な善意溢れるご対応を頂き、各地区やクラブから多額の浄財が寄せられました。

11月15日現在、各地区からの送金額は45,581,805円にのびりました。心より感謝とお礼申し上げます。当地区からの寄附金2,748,195円と併せて合計48,330,000円となりました。

・本支援金につきましては青森県災害本部へ3,000万円

被災地域クラブには

・つがる RC を通してつがる市へ250万円

・鱒ヶ沢 RC を通して鱒ヶ沢町と深浦町へ併せて550万円

・五所川原 RC を通して五所川原市と中泊町へ併せて400万円

・青森モーニング RC を通して外ヶ浜町へ303万円

・鶴田 RC を通して鶴田町へ330万円

それぞれ、県知事へ当地区の沼田廣パストガバナーと、また、市長、町長へ上記 RC 会長とガバナー補佐と共に贈呈致しました。

改めて、皆様方のご支援、ご協力に深く感謝申し上げ、お礼と報告をさせて頂きます。有り難うございました。

謹白



## RLIパートIIを終えて

国際ロータリー第2510地区 RLI委員会

委員長 平川 香織  
(札幌手稲RC)

9月11日(日)「第4期RLIセミナーパートI」から引き続き、過日**11月13日(日)「第4期RLIセミナーパートII」オンライン開催**を皆様のご協力のもと、多数の会員の皆様に受講いただき無事終わることが出来ましたこと、心より感謝申し上げます、ここにご報告させていただきます。

パートIIは、松浦ガバナーエレクト、小山地区代表ファシリテーター、酒井前地区代表ファシリテーター、オブザーバーとしてローターアクト2名のご参加と、そして37名の会員の方々の申し込みをいただき、パートI同様Zoomによるオンラインにて丸一日どっぴりとロータリーについてディスカッションいたしました。パートIの「ロータリアンとしての私」としての私たちロータリアン一人ひとりが学ぶべきテーマから、パートIIでは「私たちとクラブ」として、私たちの所属するクラブがより効果的なクラブに成長するための課題がテーマとなっています。パートIIは、今期パートIを受講された方々と、以前にパートIを受講された方々が対象となっており、パートIでの経験から、Zoomへの入室やディスカッションにも余裕がみられました。

開会式「RLIガイダンス」 小山地区代表ファシリテーター



ファシリテーションとは

- “facilitate”
  - 「促進する」
  - 「<事を>容易にする」
- 「人々が集い、何かを学んだり、対話したり、創造しようとする時、その過程を参加者主体で円滑かつ効果的に促していく技法」
  - 対話や協働・共創を育むファシリテーションは今、新たなリーダーシップ研修方法として注目されている
  - ファシリテーターは参加者間のコミュニケーションを円滑に促進し、それぞれの経験、知恵や意欲を上手に引き出す役割
  - 単なる司会というよりも「進行促進役」「引き出し役」「そそのかし役」。「助産婦」とか「触媒」という例えもよく使われる

Rotary

それぞれのパート終了後、受講された方々にアンケートのご協力をいただいております。アンケートはセッションやDLに対する感想・RLIへの興味・運営上の改善点などをご回答いただいております。今後のRLIセミナーをより良いものにするための大切なリソースと言え、RLI委員会はもちろんDL全員で共有し、今後の改善に活かし、また励みといたしております。アンケートは第1期より行っておりますが、セミナー受講のあたり事前に「参加者テキスト」及び「事前質問」を確認・予習してくる方が格段に増加しており、「事前質問」に関しては全員が目を通し準備されるようになりました。受講への前向きな姿勢が感じられ、私たちも身が引き締まります。感想の欄への記入も増え、受講者が感じたことを受講者の言葉で確認することが出来、大変読み甲斐があります。また、Zoomでのセミナーの閉会式でも10名程の方々に新鮮な感想もお聞きしております。皆さんの感想で満足いただけたことをお聞きすると、9時間弱の疲れも吹っ飛びます。受講者の皆さん、長時間のセミナー受講、本当にお疲れ様でした。ありがとうございました。



パートIIに引き続き、来年**2023年2月5日(日)**「**第4期RLIセミナー パートIII**」をオンライン開催いたします。RLI委員会及びDL委員会一同、入念な準備をして皆様をお待ち申し上げております。なお、「卒後コース」を5月14日(日)開催予定でしたが、地区RYLAセミナーと重なるため、1週間繰り上げ、「**卒後コース**」は**5月7日(日)**に**日程変更**いたします。ご予約いただいている皆様には大変ご迷惑をおかけいたしますが、何卒ご理解いただけますようお願い申し上げます。

今後も、多くの方との出会いの中から、多くを「学ぶきっかけ」をつかんでいただき、クラブの活性化に繋げていただけますことを祈念申し上げます。

「第4期RLIセミナー」

パートIII 2023年 2月 5日(日)

卒後コース 2023年 5月 7日(日) (変更)



## ロータリー財団地域セミナーに参加して

国際ロータリー第2510地区 ロータリー財団委員会

委員長 松原 重俊  
(砂川RC)

11月19日(土)神戸ポートピアホテルにおいて、2022-23年度国際ロータリー・ゾーン1A.2&3ロータリー財団地域セミナーが200名ほどの出席の中開催されました。ご来賓にイアン・HS・ライズリーロータリー財団管理委員長、佐藤芳郎国際ロータリー理事、三木明ロータリー財団管理委員をお迎えして開会されました。

第一地域 飯村慎一RRFCの総合司会のもと、第二地域 服部良男RRFCより主催者のご挨拶がありセミナーがスタートしました。今回のセミナーにお忙しい中お越し頂いた、イアン・ライズリーロータリー財団管理委員会管理委員長より「Doing Goods in the World」と題してご講演がありました。ロータリー財団は、ロータリー会員の皆様がチャレンジしようとしているより大きなインパクトを与える奉仕プロジェクトを達成できるようにすることを使命としているとのお話でした。次にロータリー平和センターホストエリアコーディネーター水野功氏より「ロータリー平和センターの取り組み」について、第二地域ロータリーカード地域コーディネーター関博子氏より「ロータリーカードの現状」につてのお話がありました。

昼食の後、DDF寄付功労地区表彰があり、第2510地区石丸修太郎ガバナーも表彰されました。会員の皆様のご寄付に感謝しております。細川吉樹第一地域E/MGAより「大口寄付・恒久基金推進」についてのお話の後、羽部大仁第一地域直前RRFCと高橋茂樹第二地域ARRFCにより「PHS入会を推進しよう」と題してのお話がありました。昨年度、札幌で開催され全国各地からお越し頂いたPHS認証式と午餐会についてのご苦労話やお礼とともにPHSへの入会促進が今後のロータリー財団にとって必要であるなどのお話を頂きました。羽部直前RRFCのPHSに対する思いの深さを感じられるお話でした。伊藤雅基第二地域EPNCより「ポリオ根絶に向けてと世界ポリオデー報告」、地区活動報告として、田中靖第2750地区ロータリー財団委員長より「ウクライナ 災害救援基金 プロジェクト」について、第2660地区溝畑正信氏より「パキスタン 浄水プロジェクト」について、認定NPO法人Future Cord理事長/医師大類隼人氏より「ロータリーファミリー活動報告」についての報告がありました。特に大類



氏は地域のために大変精力的に活動されており、今何が必要かを的確にとらえ活動されている様子に感動いたしました。最後のプログラムは、パネルディスカッションで、モデレーターに第二地域ARRFC高橋茂樹氏、パネリストは4名の財団委員長で第2550地区 森本敬三氏、第2580地区 吉田弘和氏、第2610地区 青山和也氏、第2710地区 山本清氏のもと「ロータリー財団のクラブへの認知度向上」と題してパネルディスカッションが開催されました。財団奨学生の卓話から財団への興味を持ってもらうなど、各地区で特徴のある取組を紹介して頂きとても参考になる内容でした。

最後に、三木明ロータリー財団管理委員会委員より講評を頂き、永田壮一第三地域RRFCの閉会の挨拶にてすべての日程が終了しました。貴重なセミナーに参加させて頂いたこと感謝いたします。







## 2022-2023年度 第2回ガバナー会議報告

国際ロータリー第2510地区

2022-2023年度ガバナー 石丸 修太郎  
(札幌西RC)

去る11月20日(日)午後2時より神戸ポートピアホテルにて本年度2回目のガバナー会議が開催されました。冒頭、佐藤芳郎RI理事より挨拶があり、ジェニファーE.ジョーンズRI会長が進めている大規模補助金についてなどの説明があり、続いて前年度のガバナー会の決算報告および関連組織のそれぞれの決算報告が行われました。

その後佐藤芳郎RI理事から、現在のRIの34のゾーンに関する説明がありました。これらの報告に続いて、協議に入り、嶋村議長から、「未来委員会」の設置、「現ガバナー会」をRIが規定する「多地区合同組織」とする件、ガバナー会の規約改正の件およびガバナー会運営協力金の増額の件が提案されました。

議場から活発な意見が寄せられ、結果として現ガバナー、ガバナーエレクト、ガバナーノミニーの3世代による「未来委員会」の設置について合意が図られ、その他の案件は、「未来委員会」による検討を待つということとなりました。

その後小グループに分かれて、地区の改善点や未来のロータリーへのアイデアなどがディスカッションされ様々な課題が挙げられました。今後の活動に活かすということで、本ガバナー会が終了しました。



ガバナー会長議団



会議風景



会議終了後は お楽しみ大晩餐会



## 第51回 2022-23度国際ローターゾーン1A, 2 & 3 ローター研究会に参加してきました

国際ローター第2510地区

2022-2023年度 ガバナーエレクト **松浦 光紀**  
(小樽南RC)

神戸ポートピアホテル（神戸市）に於いて11月19日、ローター研究会の附属事業プログラムとして、ローター財団地域セミナー、11月20日にはGETS、GNTS、及びメジャードナー顕彰午餐会が行われました。11月21日はローター研究会第1日目、22日はローター研究会第2日目と4日間の研修を受けさせて頂きました。当地区からの出席者は石丸ガバナー、出村ガバナーノミニ、酒井PG、羽部PG、嵯峨PG、福井PG、大日向PG、藤城2024-25年度地区代表幹事、そして私が参加致しました。

今回の大会には、ジョニファーE.ジョーンズRI会長ご夫妻、イアンH.S.ライズリーTRF管理委員長ご夫妻が出席されました。お二人が同時に来日されることは、珍しいことのように思いました。

20日のプログラムとして、9時からGNTSが開始されました。この日の10時15分からメジャードナーの顕彰午餐会が設けられ、ジョニファーRI会長、ライズリーTRF管理委員長が出席されました。又、写真撮影の他、アーチ・クランフ・ソサエティの表彰も同時に行われました。その後6つのセッションに分かれプログラムが進行致しました。



18時からRI会長ご夫妻、TRF管理委員長ご夫妻歓迎晩餐会が盛大に行われました。

21日はローター研究会1日目、開会式に続きRI報告、はジョニファーRI会長から、又TRF報告は、ライズリーTRF管理委員長から報告がありました。その後基調講演としてジョニファーRI会長は、世界のロータリアン数は約140万人、欧米や日本では会員数は減少していますが、アフリカ諸国やインドなどでは、増加が続いている事。女性会員比率は現在25%ですが、32%を目標に会員増強を目指していること。又「イマジンローター」について、特に多様性について話され、アフリカ諸国やヨーロッパ等を訪問し感じたこととして、異なる人種や若者たちをクラブに迎え入れる姿勢が大切であることを強調されました。ライズリーTRF管理委員長は、「財団の活動と健全性」についてお話されました。国際奉仕活動として、10年以上に渡り最高ランクである★4つを独立機関から与えられていること、素晴らしい奉仕団体であり続けている奉仕団体であること。又財団の管理について、人頭分担金を半期で2ドルずつ上げさせて頂き、健全性を確保していること。奉仕活動は、7つの重点分野の重要性であること、そして、ローター平和センターには、ウガンダのマケレレ大学に続く中近東等に新しいセンターの準備が進んでいること、世界ポリオ根絶運動についてはもう少しで根絶に向け進んでいる事を話されました。



午後からは、第1セッションとして、「いまこそポリオ根絶」についてその意義と各地で開催されたポリオデーの成果と発表が行われました。

規定審議会報告があり、その後ブレイクアウト・セッションとして下記4つのセッションが準備されておりました。

1. 「DEI」について
2. 「新重点分野【環境】と会員拡大」
3. 「ウクライナへの人道的支援を考える」
4. 「貧困と教育機会」

私は「DEI」のセッションを受講いたしました。



22日は、ポリオ根絶について、「私とポリオ根絶」「1955年東京 ポリオ罹患 母の手記から」という内容で、ポリオウイルスと直接戦ったロータリアンの発表と続きました。そしてロータリーカードの運用について説明があり、クラブカードを使用することにより、ポリオ根絶に向け大きな資金を提供できることの実績の説明があり、ロータリーカードを利用された優秀クラブや個人が表彰されました。

又前日の4つのブレイクアウト・セッションで話われた内容に関する発表がありました。続いて、第2セッションとして、「ローターアクトの新しいステージをひらく」と題し、現役のローターアクトからの活動と年齢制限に係る問題点等話われました。第3セッションとして、「未来に架ける橋」と続き閉会式となりました。



4日間盛沢山のプログラムが続き、素晴らしい指導者のもと充実した内容で大変勉強になりました。

## 第4・第5グループ合同会長・幹事会開催報告

国際ロータリー第2510地区

第4グループ ガバナー補佐 古野 重幸（札幌RC）

第5グループ ガバナー補佐 平 昌夫（札幌南RC）

去る11月26日（土）17時45分より札幌グランドホテルGINSENの間で第4・第5グループ合同の会長幹事会を開催しました。18時半からの懇親会には石丸ガバナーにもご参加いただきました。第4グループは第一回の会長・幹事会を年度スタート前の5月14日に、第5グループは4月4日にそれぞれ開催しています。今回は年度半ばの時期に前半期の成果の発表と情報交換及び両グループの交流と懇親を目的に開催致しました。会費8千円。

懇親会の前に各々グループに分かれて、これまでの活動のブリーフィングやガバナーから提出依頼のあった「クラブ状況報告書」への対応、地区が来年4月に予定している新入会員研修会への参加予定、また3月10日開催予定のIMの概要などに関して、討議やヒアリング及び情報共有を30分程度行いました。

懇親会では冒頭に石丸ガバナーからご挨拶いただき、その後札幌RC大原会長の乾杯の発声で歓談がスタート。会の途中ではすべてのクラブの会長からこれまでの活動の成果について一人3分程度で壇上からスピーチをしていただきました。石丸ガバナーにご出席いただいたお陰で、直接ご報告が出来たことは大変良かったと思います。歓談も各テーブル共盛り上がり、20時過ぎに締めめの挨拶を札幌南RCの舟本会長にお願いしました。最後に懇親会の司会を務めていただいた第5グループ平ガバナー補佐にも挨拶をいただきました。

第4グループの会長・幹事会は情報交換と親睦をメインとしています。以前自分（古野）が会長の時に参加した会長・幹事会は各クラブから資料に基づく報告が長く続き、懇親会も含めると4時間以上の会合となっていた記憶があります。前回も今回も準備するペーパーは一切なし。各会長からの短いスピーチだけで、あとは食事とお酒を楽しみながらの懇親会。

ロータリーの会合は研修や協議会などは別にして、常に楽しく参加できるものにするのが大切だと思います。それもあまり時間をかけずに。次回は合同ではなく別々に6月頃に行う予定です。大きな達成感をもって、打ち上げ大懇親会になることを期待しています。



## 札幌ロータリークラブ 90周年記念例会・祝賀家族会、盛大に開催される

札幌ロータリークラブ

幹事 日浅 尚子

札幌ロータリークラブは、創立90周年記念例会（第4314回）と記念祝賀家族会を12月14日午後5時から札幌グランドホテルで開催しました。コロナ感染予防のため、誠に勝手ながらごく内輪の会とさせていただき、石丸修太郎ガバナーのご臨席のみとさせていただきました。そのような状況にも関わらず、スポンサークラブである東京ロータリークラブならびにたくさんのクラブからお祝いのメッセージを頂戴しました。この場を借りてお礼を申し上げます。ありがとうございました。

記念例会では石丸ガバナーから90年にわたる活動のご評価と100周年に向けての激励のご祝辞を、そして、お父上（伊藤豊次会員）が札幌ロータリークラブのチャーターメンバーであった伊藤義郎会員（96歳 国際ロータリー元理事）からは記念スピーチをいただきました。90周年記念事業として

- ①これまで周年時に札幌市等に寄贈した銅像、日時計などの現況調査と整備
- ②記念誌発行
- ③寄付
- ④資料のデータ保存等

などの活動を考えており、その進捗状況についても本例会にて報告致しました。

例会終了後には出席者全員で集合写真を撮影し、親睦委員会の企画運営による祝賀家族会と進みました。さっぽろ名妓連所属の芸者衆による祝いの踊りで幕開け。

会場が盛り上がったのは90年をたどるスライド上映でした。スライドは、創立以来の活動が写真で残されていたから制作できたわけで、会員皆、クラブの活動記録や資料の保存の大切さを再確認したと思います。

さらに、80年以降の活動が紹介されると、現在も在籍しているメンバーのまだ初々しい写真も多く紹介され、テーブルから大きな拍手や笑い声上がり、会場全体がいっそうなごやかな雰囲気となりました。

札幌ロータリークラブ独自の活動で今年設立50周年の「若い人と語ろう会」（会員企業の若手社員による会）からも約20人が参加してくれました。

記念例会、記念祝賀家族会は、担当の会員、委員会が大汗をかいて事前準備し、当日は最大の緊張感をもって運営をしました。加えて、事務局や会場の札幌グランドホテルの皆さんなど、日々札幌ロータリークラブを支えてくださっている方々がいなければできなかったことです。

大原雅会長は今年度のスローガンを「集う」「知る」「紡ぐ」としました。記念例会、記念祝賀家族会を通じて、このスローガンに近づくことができたと考えています。

あと10年で100周年を迎えます。一連の90周年事業の検証と反省を忘れず、100周年につなげていきたいと思っています。





## 第50回ローターアクト地区協議会を終えて

国際ローター第2510地区

ローターアクト委員会 高橋 耕

(札幌南RC)

去る12月3日に赤平交流センターみらいにて、第50回ローターアクト地区協議会が開催されましたので、ご報告いたします。

コロナの状況もあり現地で開催される地区協議会は3年ぶりということで、皆さんに直接お会いすることが楽しみでありました。前日より天候がいきなり冬模様になっておりまして、赤平では積雪が多く道路状況が悪い中、石丸ガバナーをはじめ多くのロータリアンが現地で参加されておりました。現地で参加されたロータリアンをはじめ、多くの登録をいただき、この場をお借りして御礼申し上げます。



地区協議会の趣旨はローターアクトがいろいろな形式で、ローターアクトやロータリーについて、また様々なテーマについて勉強することであります。今回は、2022年度から変更されるローターアクトの制度についての知識を深めることが、メインのプログラムでした。年齢制限がなくなることや、人頭分担当金を負担すること、補助金を申請できることなどの解説がなされ、参加者の中からは、青少年に関わりのないロータリアンにどのように周知していくべきか等、積極的な意見が多くみられた。また、どのように変化していくのか見えてこないと不安を感じる意見もあった。ローターアクト委員会の活動テーマのひとつの新アクトクラブの設立があるが、やはり多くのロータリアンに知ってもらうことが急務であると考えています。ローターアクトの情報を入手し、情報発信の機会を増やしていくことが重要と改めて実感しました。やはり現地で直接議論を交わすことは、オンラインにはない迫力や緊張感があり、雑談も交えながら意見交換ができるので貴重な場であると改めて実感いたしました。今回の協議の内容を、今後の活動のヒントとしていきたいと思っております。

懸念点としては、第2510地区内のホストクラブ以外からの参加者が少なかったことがあげられます。ここ数年、様々な地区行事が中止、またはオンライン開催となり、直接交流する機会がなくなったことが原因ではないかと、私は考えています。地区内のローターアクトには、直接交流する機会が少なくなっても工夫しながら交流を深めてもらいたいと思っておりますし、委員会としてもなにか企画していきたいと感じました。

普段はメールやラインでやり取りすることが多いのですが、協議会の開催にあたり、ローターアクトの地区代表や協議会の実行委員長と何度か電話で話す機会がありました。メール等では伝わりにくいことが、相手の口調で感じ取れる良い機会でした。オンラインにはない対面の良さ、メールにはない直接会話することの良さを、オンラインやメールなどより不便かもしれませんが、実感できた協議会であったと思います。



# ガバナー公式訪問報告

※紙面の都合上や原稿の到着日により掲載順が前後する場合がございますのでご了承ください。

## 函館セントラルロータリークラブ

### 11/15(火)

11月15日（火）、国際ロータリー第2510地区石丸修太郎ガバナー、玉井清治第10グループ担当ガバナー補佐、川端忠範地区財務委員長をお迎えし、69クラブ最終のガバナー公式訪問として、10時30分より会長・幹事懇談会、11時00分よりクラブ協議会、12時30分よりガバナー公式訪問例会がそれぞれ執り行われました。

会長・幹事懇談会では、会員増強についての話題になり石丸ガバナーがこれまで色々とお話されたお話を頂きました。そのなかでも「入会をお誘いする相手は当然ロータリーの知識がないのでロータリーの事を説明しても上手く伝わらないと思います。ロータリーの説明に重点を置くよりも気軽にお友達を作りに来てみませんか？と言うふうに視点を変えてお誘いしてみたらどうでしょう。その方が相手も受け入り易いと思います。」とアドバイスを頂いたことがとてもありがたく心に残っており、早速実践してみようと思いました。

クラブ協議会では、石丸ガバナーのご提案により、ロータリーへの思い（ロータリー観）を各委員長からお話を頂くことになりました。普段はなかなか聞くことの少ない話題なので、各委員長のロータリーに対する想いを聞くことができました、今後のロータリー活動においてとても参考になりました。

ガバナー公式訪問例会での石丸ガバナーの講話では、職業奉仕からロータリー財団、イマジンロータリー等についてのお話を限られた短い時間内で、とても分かり易くお話を頂きました。なかでも職業奉仕のお話で、アメリカではVocational Service、日本では職業奉仕。翻訳の関係により生じたそもそもの解釈の違いによるアメリカと日本の考え方の違いについてのお話がとても面白く印象に残っております。

このように、会長・幹事懇談会、クラブ協議会、ガバナー公式訪問例会は、石丸ガバナーのご指導によりとても充実した当クラブにとって貴重な時間となりました。石丸ガバナーには会員一同心より感謝申し上げます。この度は誠にありがとうございました。



## 2023年メルボルン国際大会のご案内（第一報）



地区RI国際大会推進委員会

委員長

福井 敬悟

(札幌手稲RC・PG)

2023年国際大会は、5月27日（土）～31日（水）にかけて、オーストラリア・メルボルンにて開催されます。メルボルンはオーストラリア南東部の海岸沿いにあるビクトリア州の州都で、「エコノミスト」誌の「世界で最も暮らしやすい都市」で1位を獲得しています。

第一報として、メルボルン・シドニー7日間のコースをご用意致しましたのでご案内いたします。歴史的な建物や文化が残る自然豊かな落ち着いた都市・メルボルンと、近代的な大都市・シドニーを楽しめるコースとなっています。是非、ご家族お誘いあわせのうえご参加いただき、コロナ禍で旅行が制限され会えなかった友と、そしてまだ会ったことのない世界のロータリアンと、ロータリーの絆を深めましょう。多くの皆様のご参加をお待ちいたしております。

- ◎ 設定人数 : 20名様
- ◎ 申込締切 : 2023年1月31日（火）
- ◎ 旅行費用 : お一人様 400,000円

### 【 利用予定航空会社 】

国際線及びオーストラリア国内 : カンタス航空      日本国内線 : 日本航空

### 【 利用予定ホテル 】

メルボルン : モーベンピック ホテル メルボルン オン スペンサー（予定）  
メルボルン駅 正面で国際大会会場まで徒歩15分の位置にあるデラックスホテル  
シドニー : ソフィテル シドニー ウェントワース（予定）  
シドニーの中心街にあり象徴的な建造物として知られているデラックスホテル

### < 旅行費用に含まれるもの >

- ・航空料金 カンタス航空、日本航空のエコノミークラス ※ 2022年9月現在、燃油費用が含まれています。
- ・宿泊料金 メルボルン 3泊 シドニー 1泊 朝食付き ※ 2名1室利用
- ・日程表の送迎費用 空港とホテルの送迎及び、団体行動中は係員がご案内いたします。

### < 旅行費用に含まれないもの >

- ・空港利用料、その他諸税 約20,000円（2022年9月現在のものの変動があります）
- ・任意 / 国際大会登録料（各自）、北海道ナイト参加費（各自）、  
オーストラリアETAS電子入国査証（入国必要条件）OP（オプションツアー：食事、観光）、  
海外旅行保険、一人部屋希望者追加費用 100,000円

### 【 ご案内事項 】

- ・参加人数を20名様で旅行費用を算出させて頂きましたが、人数に満たない場合は変更になる場合がございます。また、お一人部屋、ベッドタイプのご希望は施設の事情によりご希望に添えない場合もございますので予めご了承ください。
- ・なお、御取消料は国際大会による現地施設の都合により、お申込み後からは旅行費用の10%がかかります。その後、御取消料はお取消し日により取消料率が変わります。（国際大会期間の為、規定が厳しいことをご理解願います）

【 お申込み・お問合せ 】 : (株)産経海外旅行 札幌市中央区北1条西7丁目 タキモトビル4階  
電話 : 011-271-5388 F A X 011-271-5621 担当 : 斉藤・矢田目



## メルボルン国際大会 メルボルン・シドニー

旅行期間：2023年5月25日（木）～5月31日（水） 7日間

設定人数：20名様

	日付		発着地	時間	交通機関	旅行行程	朝食	昼食	夕食
1	5月25日	木	新千歳空港 発 羽田空港 着 羽田空港 発	17:00 18:40 21:30	JL518 QF80	日本航空にて羽田空港へ カンタス航空にてメルボルンへ 機内泊	-	-	機内
2	5月26日	金	メルボルン 着	09:00	送迎車	入国手続き後、送迎車でホテルへ ・メルボルン市内観光（OP） メルボルン泊	機内	-	-
3	5月27日	土				終日：自由行動 ・メルボルン国際会議場 ・国際大会受付 ・友愛の家 グランドオープン メルボルン泊	○	-	-
4	5月28日	日				終日：自由行動 ・開会 本会議 ・2510地区 北海道ナイト ※ ザ・ホテルウインザー メルボルン泊	○	-	-
5	5月29日	月	メルボルン 発 シドニー 着	13:00 14:25	送迎車 QF444 送迎車	ホテルより空港へ カンタス航空にてシドニーへ 到着後、空港よりホテルへ シドニー泊	○	-	-
6	5月30日	火	シドニー 発	20:55	送迎車 QF25	終日：自由行動 ・シドニー市内観光（OP） ホテルより空港へ カンタス航空にて羽田空港へ 機内泊	○	-	機内
7	5月31日	水	羽田空港 着 羽田空港 発 新千歳空港 着	06:00 09:00 10:35	JL507	日本航空にて千歳空港へ	機内	-	-

※ 2022年9月現在のスケジュールに基づき作成しております。大会事務局、航空会社、利用施設の都合により変更になる場合もありますので予めご了承ください。

## ガバナー四方山話

### 第7回 フラメンコと闘牛

スペインには永い歴史の中で育まれた文化があります。その中でも特徴的なのがフラメンコと闘牛です。特にフラメンコは、夕食の終わる頃の12時近くに開演するのですが、真打が出てくるのは夜中の1時をかなり回った頃です。ほとんどの日本人観光客はこれを待てずに帰ってしまいます。しかし、真打のフラメンコは凄いです。ギターを弾き歌う男性と踊る女性の2人だけで醸し出す雰囲気は語り様がありません。

手に持ったカスタネットが時折雷のように鳴ったかと思うと、ある時は逃げた男を追い詰めるかのようにカチ、カチ、カチと背中に冷たいものが走るような気にさせられます。そのようなフラメンコのほとんどが女性の恨み節の真骨頂と言えるものでした。まあ、大勢で舞台の上で並んで踊るフラメンコはお祭り騒ぎでそれはそれで楽しいものですが。

闘牛もスペインならではのもので、毎年5月から10月がシーズンで、毎週日曜日に開催されます。闘牛場の半分が太陽の影に隠れるとスタートします。日陰の席が高く日なたは安いのです。1日に6頭の牛が3人の闘牛士との戦いに出されます。

この闘牛に出てくる牛は、田舎で人手をかけずに牧場でんびり放牧されていて、闘牛のある日にいきなり都会のそれも闘牛場に引き出されるので、興奮状態そのものです。牛という生き物は、元来おとなしい動物ですが、興奮すると攻撃的になります。

このような牛を相手に最初は馬に乗って槍を持った槍士(ピカドール)が、牛の背中をチクチク痛めます。これはその牛を傷つけてより興奮させるためだと言われています。この時、牛に戦う意欲が無いと判断されると、その牛は退場させられて、別の牛が出されます。

その次に銜を両手に持った闘牛士(バンデリジェーロ)が向かってくる牛の背中に銜を打ちますが、これもとても見ごたえのあるもので、牛の前で舞うように銜を打つ闘牛士も居ます。合計3回計6本の銜が打たれます。

最後に例のムレータという布を持ち、その布で牛を操り、最期に剣で牛をしとめるマタドールという闘牛士が出て来ます。この頃には牛はかなり疲労していますが、それを上手に走らせ最後に正面から背中に剣を刺し心臓一突きすると、牛はその場でぴたりと止まり、闘牛士がそっと頭に手を置くとその場で崩れるという形になると、闘牛場が割れんばかりの拍手喝さいとなります。

しかし、多くは一度では急所に刺すことが出来ず、幾度もやり直すこともありますし、最期は短剣を使ってとどめを刺すようなこともあります。こうなるとブーイングです。

闘牛士は、その出来が良いと、闘牛場の審判団から、戦った牛の耳を授与されますが、これまで耳をいくつ集めたかがその闘牛士の勲章となります。最高の出来栄の時は、尻尾をもらうことがあります。滅多にありません。

とどめを刺された牛は、翌日、闘牛の肉として近くの市場で売りに出されます。闘牛場の近くのレストランで闘牛に出た牛のお肉を売り物にしているところもあります。まあ、大して美味しいお肉では無さそうでしたが。

人間のあくなき追及の姿が垣間見れたと感じています。

## ガバナー補佐自分を語る

### 「入会して」

国際ロータリー第2510地区  
第2グループガバナー補佐

高山 訓正 (滝川RC)



第2グループガバナー補佐を務めさせて頂いています滝川RCの高山訓正と申します。

私の入会は平成4年7月ですが、その2年前ある親睦団体に縁があり入会しました。その時友人が事あるごとに今度はロータリークラブに入り楽しい職業奉仕活動を一緒にやろうと友人と幹事予定者が訪れ来月から新入会員だと言われ驚いたこと鮮明に覚えています。

入会后新入会員のオリエンテーションまた滝川RCには木曜フォーラムがあり、フォーラムが2ヶ月に一度開始前30分～40分ロータリークラブについての講義がありその後懇親会があり有意義な時間を過ごしたことを覚えています。年4回の夜間例会がありそこでまた新たな出会いがあり、友人の優しいお酒の指導もあり私の狭い範囲の対人関係が本当に考えられないくらい広がりました。毎週の例会においてのゲスト卓話、会員卓話などで勉強させて頂きました。記念行事などにおいて会員同士の連携また指導力を発揮するのを目の当たりに見させて頂き自分の業界に大いに参考にさせて頂くことが出来ました。

ロータリーの中でイエスは有りノーは無いと言われ教育されて来ましたが、フォーラムの後の酒の席での出来事で会話の中で3年後の幹事をどうするかと問われ、その時の会長は絶対に受けないだろうと言われてきた人でしたので、乗りの話で私が引き受ける旨の会話をしていました。3年後ネクタイ姿で訪れる約束をした幹事を要請されて首を横に振れず受けてしまいました。それから地区IC委員会、会長、ガバナー補佐と縦の返事ばかり、酒の席とはいえわが身に振りかかることを言うてはいけない教訓を教わったところです。

最後に石丸修太郎ガバナー年度にガバナー補佐のお仕事をいただき第2グループの4クラブの補佐としての仕事を最後まで努力してまいります。今後ともご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

## 「ガバナー補佐 自分を語る」

国際ロータリー第2510地区

第1グループガバナー補佐

忠津 章 (羽幌RC)



### < 幼少時代 >

私は昭和23年2月12日、羽幌町より山奥に入った築別炭鉱という炭鉱町に生まれました。

父は、炭鉱に坑木を納入する木材業と炭鉱を中心に建設業を営んでいましたが、子供の頃の生活は決して楽なものではなく、石炭を輸送する際に線路脇に落ちた石炭拾い、又水道が完備されていなかったため、大きな水ガメにポンプで水汲みをさせられました。

周りが皆貧乏がゆえ、親に面倒を見てもらえず友達と山へ行って山ぶどう、コクワの実、クルミ等を取ったり、川へ泳ぎに行ったり、日の暮れるまで野球をやったり冬はスキーをして遊んでいました。その炭鉱も昭和45年に閉山し、木材業の方は当時北海道に進出して間もない、大昭和製紙（現在は日本製紙と合併）と取引、建設業の方は官公庁を主な受注先として営業を行っています。

### < 将来の進路 >

地元の小学校を卒業し、中学校へ通い始めた1年生の6月、都会への憧れから「札幌へ行きたい」と親に頼み込み、7月より親元を離れて札幌の中学校・高校へと進みました。

学生時代の楽しみの1つは、休みに親元へ帰ることでしたが、実家へ帰るたびに家では役所の人とマージャン、酒宴をしていました。この様な場面を毎日のように見て、プライベートな時間も持てない父の仕事は絶対継ぐまいと思っていましたし、かといって人に使われるサラリーマンも嫌だと思っていました。

行く行くは“一国一城の主”になろうと東京の大学の薬学部を受験し、入学致しました。

当時学園紛争が激しい頃でしたが、私はノンポリで大した勉強もせず大学生活を送っていて、今思えば良く卒業できたし、薬剤師の国家試験も受かったものと思います。

### < Uターン >

大学卒業後、将来は“薬局の主”という目標の為、千葉県にある薬局会社に勤めましたが、勤めて3年目に父が手術することになり、色々考え悩みましたが、長男ということもあり「羽幌へ帰ろう」と決心し、あれほど家業は継ぐまいと思っていた父の仕事を昭和49年1月よりすることになりました。

木材業、建設業について何一つ知識も経験もありませんでしたから、まずーから勉強という思いで夏は工事現場の飯場で、朝6時から夕方6時まで、冬は掘っ建て小屋の造材飯場で寝起きしての仕事と今では考えられない働き方をしていました。

### < 新工場建設 >

日々勉強という思いで仕事をしていましたが、昭和54年9月に父が急逝し、31歳で社長に就任しました。

それまでチップ工場で生産した木材チップを、大昭和製紙 白老工場まで貨車輸送をしていた為、駅近くの狭い敷地に工場が有り、貯木場も3ヶ所に分散し、工具も10人以上はいたと思います。

これらを集約し効率の良い工場を建設し移転を考え、まず用地取得の為、地元、札幌、登別の地権者と交渉し、現在地 約7町強の敷地に3人で稼働できる新工場が昭和57年12月に完成致しました。

< 青年会議所・ロータリークラブへの入会 >

羽幌へUターンして3年位たった頃、羽幌青年会議所の入会の誘いを受けました。

羽幌町に同級生、友人、知人がいなかったので2つ返事で入会を致しました。

ちょうど青年会議所が創立10周年を迎えた時で、メンバーも50人以上はいたと思います。

10周年の記念事業として大相撲の夏場所巡業を招致し、メンバー全員が土俵作りや観客席作りに夜を徹して作業し成功させたパワーと行動力に感動しました。

青年会議所卒業後、ロータリークラブに入会しましたが24年の間に、会長、幹事（2回）と大変貴重な経験をさせて頂きました。

しかし今のロータリーの活動は、青年会議所の時のように1つの事業に会員全員が携わって完成させ、達成感に浸る事業がない様に感じています。

< 終わりに >

私は、現在74歳、年明けには75歳になります。自動車免許更新も認知の検査をしなければなりませんし、ロータリークラブのことにしてもまだまだ知識も不足していますし、勉強不足です。

又、昨年6月に常務取締役の弟が他界し、今までにない忙しい毎日です。

ガバナー補佐という役割は大変重荷ではありますが、第1グループ各クラブの為、一生懸命努力して参りたいと思いますので、ご支援、ご協力の程よろしくお願い致します。

# 新会員のご紹介

敬称略



滝川RC  
大滝 裕慈  
令和4年5月19日  
金融業



滝川RC  
杉山 武司  
令和4年7月14日  
芸術家



滝川RC  
浮田 優  
令和4年7月14日  
飲食業



滝川RC  
吉田 英人  
令和4年7月14日  
脳神経科



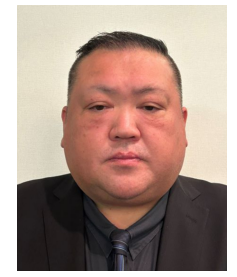
北広島RC  
齋藤 心  
令和4年8月9日  
林業機械販売リース



札幌手稲RC  
阿部 一博  
令和4年10月29日  
燃料機器販売



滝川RC  
飯島 望  
令和4年11月17日  
情報関連業



伊達RC  
大坂 秀磯  
令和4年12月1日  
不動産賃貸



苫小牧RC  
松浦 大希  
令和4年12月2日  
証券業



苫小牧東RC  
熊谷 史恵  
令和4年12月1日  
飲食店



札幌手稲RC  
坂本 知己  
令和4年12月10日  
行政書士



小樽RC  
宇山 孝志  
令和4年12月13日  
信用金庫

## 月信委員会からのお知らせ

従来ガバナー月信に掲載されておりました以下の記事は、今年度は地区ホームページに掲載をしております。地区ホームページ (<http://rid2510.org>) をご参照ください。

### 【ホームページ掲載記事】

- ・ガバナー補佐名簿
- ・ガバナー公式訪問日程
- ・地区カレンダー
- ・ガバナー事務所スタッフ・担当
- ・地区予算
- ・地区クラブ会長・幹事名簿
- ・地区組織図
- ・ハイライトよねやま
- ・コーディネーターNEWS
- ・ロータリー定期報告関係 等



RI 2510地区ホームページ  
QRコード

## 札幌北ロータリークラブ例会場移転のお知らせ

寒冷の候、皆様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。また、日頃より当クラブに対しご指導ご鞭撻をいただきありがとうございますことに心より感謝申し上げます。

札幌北ロータリークラブは 令和5年1月より例会場を下記のとおり移転致します。今後とも宜しくお願ひ申し上げます。

記

### 【札幌北ロータリークラブ例会場 新住所および連絡先】

ロイトン札幌 1階 Castle (キャッスル)

【新住所】〒060-0001 札幌市中央区北1条西11丁目

【電話番号】011-271-2711

【ビジターフィー】3,500円

## 表紙の解説（第1グループ）

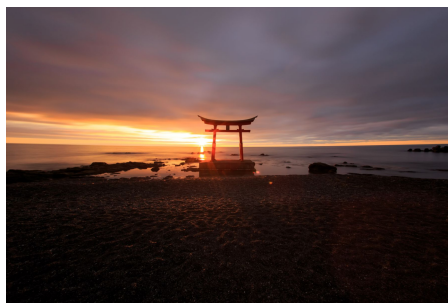
### 初山別 豊岬金比羅神社の概要

#### 海の中に朱色の鳥居が佇む！北海道の初山別村に隠れた絶景フォトスポット

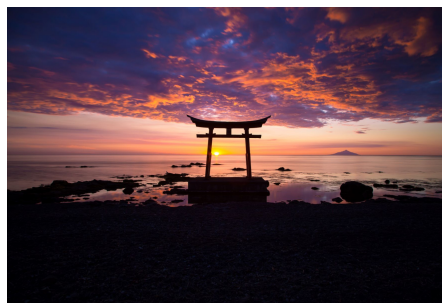
「初山別（しょさんべつ）豊岬（とよさき）金比羅神社」は、北海道の初山別村にある神社です。

1907年、四国の金毘羅宮のお札が漂流していたことに因り、小さな祠が建てられたのが神社の始まり。金毘羅のお札が祀られたことで、いつしか神社のある岬を「金毘羅岬」と呼ぶようになりました。ご祭神は定かではありませんが、四国の金毘羅宮に原点を探れば、大物主命（おおものぬしのみこと）、崇徳天皇の2柱の神とすることができ、縁結び・子宝・夫婦円満・金運上昇のご利益があるとされています。

こぢんまりとしていながらも参拝者が訪れる理由は、海の中に佇む鳥居がひととき美しいためです。青々とした日本海と青空に朱色の鳥居が良く映えます。日が暮れてくると、鳥居の中から夕陽が覗き、その瞬間を写真に収めようと、多くの人で賑わいます。



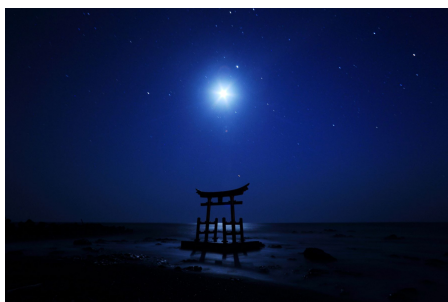
鼓動



天照



夕暮れ



月光



降霜のように



**Rotary**  **District2510**